



2016-2017年度 主題

国際会長 : Joan Wilson “Our Future Begins Today”
 「我々の未来は、今日から始まる」
 アジア会長 : Tung Ming Hsiao “Respect Y's Movement”
 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 : 利根川恵子 「明日に向かって、今日働こう」
 湘南・沖縄部長 : 若木一美 「あなたが退会しない理由は？」
 ～明るく・楽しく・元気よく～
 クラブ会長 : 林 茂博 「仲良く、楽しく、無理をせず」
 ～今日という日を大切に～



Merry Christmas!



今月の聖句

光は暗闇の中で輝いている。
 暗闇は光を理解しなかった。
 その光は、まことの光で、世に来て
 すべての人を照らすのである。

ヨハネによる福音書1：5, 9

《巻頭言》

副会長 今城 宏子

“きよし このよる”

クリスマスシーズンに入ると(巷では11月になった途端!)あちこちで流れるこの讚美歌は日本で、いえ世界中で最もよく知られているクリスマス讚美歌と
 いうて良いでしょう。何か懐かしい、そして厳かな気持ちになる不思議な讚美歌です。



ドイツの小さな村オーベルンドルフの教会で1818年のクリスマス・イブの日にオルガンの風袋がネズミにかじられて音が出なくなり、オルガン奏者のグルーバーがその日のうちに作曲してギター伴奏で歌ったというのは有名な話です。しかし残念ながらアメリカで作られた伝説のようです。実際には作詞者モールによって歌詞が書かれたのはその2年前、20年続いた戦争が終わった時でした。歌詞は6節から成り、そこには世界の民の和解と平和を実現するイエス様のご降誕への喜びと感謝が記されています。

モールはその翌年オーベルンドルフの教会に助祭として着任し、さらに翌年オルガニストとして兼任していたグルーバーに作曲を依頼しました。グルーバーはギター伴奏による二重唱として作曲し、礼拝堂の「まぶね飾り」に集まった人々に歌って聞かせたようです。チロル民謡として長く歌い伝えられる中で成立のいきさつは忘れられ牧歌的な聖夜の3節が残されドイツ中へ、アメリカへ、そして世界へと広がったのでしょう。(日本キリスト教団出版局「さんびかものがたりII」川端純四郎著より)

「きよし このよる」は実は平和の賛歌なのです。今、世界中で争い、差別、そして自然災害による被害等大きな痛みや悲しみが続いています。横浜YMCAでは「笑顔につながる小さな一歩」をテーマに「国際地域協力募金」のキャンペーンが11月から始まりました。カンボジア、タイ、ミャンマーなどでの活動、地域での活動を覚え、また、被災地で困難な中にある人々や障がいのある人々に寄り添う活動を覚え、「平和が来ますように」と祈りつつワイズメンズクラブの一員として繋がって行きたいと思えます。身近な隣人を愛すことから始めて!!

皆様が平和なクリスマスと良き新年を迎えられますよう心よりお祈りいたします。



2016年12月本例会
 ◇横浜YMCAクリスマス会に合流
 つながろうともし火をともして-
 日時: 2016年12月15日(木)
 18:30~20:30
 場所: 湘南とつかYMCA
 報告者: 林S
 受付開始: 18時15分~
第1部 18:30~19:30
 クリスマス礼拝
 説教 日本キリスト教団
 蒔田教会
 古谷 正仁 牧師
第2部 19:45~20:30
 祝 会
 * 祝会参加費は、1,000円です。

年度後期分会費納入のお願い!
 2016-17年度後期のクラブ会費の
 納入をお願いします。
 ~振込口座~
 横浜銀行菊名支店(普通) 1330228
 口座名: 横浜つづきワイズメン &
 ウィメンズクラブ

《特別報告》

東日本大震災被災地訪問プログラム

日程：2016年11月17日(木)

参加者：辻Ts、林S、鈴木S（つづきクラブ）

浅見隆夫(東京グリーンクラブ)

石丸由理(東京武蔵野多摩クラブ)

清水弘一(石巻広域クラブ)

村井伸夫(仙台YMCA総主事)

訪問先：特別養護老人ホーム「みやま荘」

山元町営「つばめの杜保育所」

日本基督教団原町教会

＜その1：みやま荘訪問＞

被災地訪問としては、昨年7月以来1年4ヶ月ぶりに山元町を訪問した。この間、これまで訪問した「南保育所」は、震災後の人口減少に対処して町内3か所の保育園が統合されたことにより、新しい場所に新設された「山元町営つばめの杜保育所」になった。こうした事情もあって、今回は久しぶりの訪問になった。

訪問日当日、辻さん、林さん、小生3人は新横浜7:01発のこだま号に乗車、東京駅で7:36発のはやぶさ3号に乗換え、9:10に仙台駅に到着した。仙台駅で浅見隆夫さんと合流の上、林さんが運転するレンタカーを利用して、10:30頃「みやま荘」に到着した。北島宏一会長、森 忠則園長をはじめとする職員の方々にお出迎えをいただいた。仙台YMCAの村井伸夫総主事は既に到着しておられた。

誕生会に出席される入居者の皆さんは、既にホールに集まっておられた。約50人、大半の方々が車椅子であった。当月お誕生日を迎えた3人の方は、首にきれいなレイをかけておられた。早速持参した手作り誕生カードを、3人の方にプレゼントした。



(みやま荘にて)

当方のご挨拶、自己紹介を終えて、最初に浅見隆夫さんのカラオケをバックとした民謡披露があった。次いで、林さん、辻さん、小生によるマジックゲームを紹介したが、準備不足もあり、あまり喝采を受けるまでには至らなかったようである。次に再度、浅見さん

が登場し、演歌・歌謡曲を熱唱して下さった。最後に、会場からのリクエストで「北国の春」を大合唱して、約1時間のプログラムを終了した。

毎回思うことではあるが、ここの入居者の中には私たちの歌やゲームに反応し、一緒に歌って下さる方もいるが、車椅子の方々の中にはご高齢のせいか、終始無表情の方もおられ、私どもの訪問がどこまで喜ばれているか疑問に思われる面もないではない。しかし、職員の方々からは来年もぜひと見送られ、この活動も少しは意義があるのかなと、自らを慰めつつ「みやま荘」にお暇した。 (その1 鈴木S 記 完)



途中、南相馬の原町教会に立ち寄り、中野先生ご夫妻と懇談する訪問者。

＜その2：原町教会⇒つばめの杜保育所＞

11月17日(木)、私たちは、1年数か月振りに山元町を訪問した。いつものように午前中に「みやま荘」のお誕生日会に参加。昼休みを利用して南相馬市の原町教会まで足を伸ばして中野通彦伝道師・祐子(鈴木茂・恭子さんの長女)ご夫妻との再会を楽しみ、同時に林さんから横浜室内合奏団・歌劇団による被災地慰問演奏会についてご相談。午後のプログラムの「つばめの杜保育所」に約束の15時半前に到着。「南保育所」時代からの伊藤ひとみ園長先生以下に出迎えられ久しぶりの再会を喜びあった。

午後のメンバーには、石巻広域クラブの清水弘一さんと石丸由理さんが参加して下さった。仙台YMCA総主事・村井伸夫さんは所用のため帰られた。村井さんは午前、清水さん、石丸さんは午後からの参加と、お忙しい中スケジュールをやり繰りしてご協力して頂いた。ただただ感謝。

今回の訪問は、これまでの南保育所ではなく、8月15日から保育を開始した「つばめの杜保育所」(山元町にある三つの保育所が統合。園児：149人。)。そんな訳で新しい園舎で沢山の子どもたちが大きな声で遊んでい

るのを、見るのを楽しみにしていた。写真でもわかるように、木をふんだんに使った素晴らしい建て物で、子ども達は緑の芝生の園庭を走ったり、寝転がったり、元気一杯、という光景を思い浮かべながら伺ったが、芝生こそ茶色だったがその他は全くイメージ通りのシーンに出会った次第。

既に到着していた石丸さんは時間を惜しむかのように6才児のクラスの子どもを相手に早くも指導を開始していた。

メインイベントのお誕生日会は、3才児、4才児、5才児の園児が大広間に集まりスタート。お誕生日月が11月の園児は10名だった。林茂博さんからバースデー・カードを一人ひとり手渡し、その後はいつものようにリトミックの世界的プロ、石丸由理さんのリードで楽しいお遊戯の時間が始まった。われわれも子どもたちと一緒に付き合ったが、後期高齢者には結構きつい動きも子供たちは楽しみながら軽々とやっていた。石丸さんの卓越したリードで1時間はアツい間に過ぎ、園児たちとは再会を約してお別れした。

新しく造成された土地の上に新しい園舎、5年半前には生まれていなかった園児たち、ここだけは東日本大震災で津波・地震の直撃を受け、山元町民の死者632人、家屋の全壊2,217棟(うち1,013棟は流失)という災害の面影はどこにも見当たらない。あれから5年半、その間、熊本大地震もあり、慰問に訪れるひともし少なく、確実に風化は進んでいる。唯一の経験者である職員の皆さんからは、また来年来てくれませぬと念を押された。(その2 辻Ts 記 完)



つばめの杜保育所の子ども達は石丸由理ワイズが指導するリトミック体操に大喜び。



12月横浜北YMCAだより

北YMCA館長 山中 奈子

今年はずっと年よりも寒くなるのが早いような気がします。11月に初雪...というのも50数年ぶりとのこと。風邪などひかぬよう気を付けていきたいものです。

11月3日(祝)には毎年恒例のYMCAまつりが開かれました。今年も多くの方のみなさまにご協力いただき大盛況のもと終了することができました。今年度は売り上げも順調で、募金額も70万円を超すことができました。ワイズのみなさまにご協力いただいたチャリティーバザーも好調で、昨年度を3万円ほど上回る売り上げがありました。1,200名程の来場者がありました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

毎月、発達・教育支援部では「保護者勉強会」を実施しています。11月には「子どもたちの思春期に寄り添う」と題して、講師の田沼美穂が講師を務めました。どんな子どもたちにも思春期はきます。特に発達に課題のある子どもたちは自分のことをなかなか理解できず、ことばにするのも苦手です。そんな子どもたちが思春期を迎えると、より難しい時期を迎えます。誰にでもやってくる思春期...大人たちがどのように関わるかというのをいねいに伝えました。

今年から2か月に1回、菊名教会の愛澤牧師にお越し

ただき、スタッフ向けの「聖書勉強会」を行っています。ノンクリスチャンのスタッフが多い中、キリスト教の学びをするチャンスを持てるようにしたいと思っています。11月は「クリスマスについて」お話を頂きました。また、毎日の業務会では聖書日課を輪読するようにしています。皆がキリスト教に少しでも近づいていけるようにしていきたいと思っています。

《1月の主な行事》

1月10日 歌ごえ広場

1月13日～16日 横浜×光州YMCA

トライアングルキャンプ

1月21日 北Y運営委員会



(バザーの様子)

《報告》

11月度クラブ本例会

日時:11月25日(金) 18:30-19:45

場所:かけはし都筑

出席者: 今城T+H、岡崎S、岡田K+M、久保K、
鈴木S+K、田中T+信子さん(パートナー)
林S+M、福島S、山中N
(ゲスト) 東晋さん(卓話) 高松満至さん

司会:今城T 受付:林M

《プログラム》

- 開会点鐘 林会長
- ワイズソング・信条 一同
- 今月の聖句・祈禱 司会者
- 会長挨拶
- 卓話 東晋さん

「健康寿命を延ばすポールウォーキング」

11月本例会は「健康生きがいくくりアドバイザー」としてご活躍の東晋さんをお迎えして、ノルディックウォーキング・ポールウォーキングのお話を伺いました。

最近我が家近くで、ポールを使いながらウォーキングしている姿をよく見かけるようになり、興味はもっていましたが、実際に東さんからわかりやすく説明を伺い、さらに理解を深めることができました。

ポールウォーキングの効能

- ① 病気の9割は、歩けば治る。
- ② 姿勢が良くなる。
- ③ 首から下の筋肉を使う全身運動。

4点支持歩行により、足腰への負担軽減ができることを再認識して、「10年くらい前に学んでいればよかった。時すでに遅し・・・」という気もしましたが、ポールを持って歩くことの効果を学ぶことができました。

ノルディックウォーキングの実演で、東さんの後ろに振り出した腕とポールが見事に直線となっているのに感心しましたが、初心者には少しハードなように感じ、始めるならポールウォーキングの方が手軽なように感じました。メタボ・ロコモ・認知症・骨粗鬆症などの予防になると伺い、メンバーの中には早速体験会に参加しようという意欲的な方も見受けられ、大変良い機会を与えられた卓話でした。

散会後はいつもの“ガブリエル”に場所を移し、東さん共々、楽しい懇談の時間を持つことができた。



《特別企画》

つづきクラブ 年忘れ文芸大会

つづきクラブでは、日頃忙しくしているワイズが、たまには詩作に耽るのもよからうとの思いから、クラブメンバーに呼びかけて、様々な思いを「俳句」または「川柳」にしてもらいました。集まった句を、川柳とおぼしきものを一～十七に、俳句と思われるものを十八～二十九に分けて並べました。川柳では、日頃のワイズライフの悲喜こもごもや、日々の生活を詠んだ句が、俳句では、季節の移ろいや時々的心情、旅情などを詠んだものなど、なかなかの出来栄えと思うのは身びいきでしょうか。

ブリテン編集部では、クラブメンバー並びに読者の皆様にお読みいただき、是非、感想をいただきたいと考えました。方法は、①いいね！ ②うまいね！ のそれぞれに該当すると思われる句を選び、その番号(漢数字)を ①・・・ ②・・・のように記載して頂き、以下までメールまたはfaxでお知らせください。また、一言のご感想もお聞かせいただければ幸いです。

なお、クラブメンバーの皆さんは、それぞれの句の作者を当ててみましょう。投票結果は次号でお知らせします。

評価・感想送り先: ✉timajo913@tuba.ocn.ne.jp fax: 045-913-1715

- | | | |
|----|---------------------|--|
| 一 | さけの席 さけて通れぬ つづきかな | |
| 二 | 例会は 飲み会からが さあ本番 | |
| 三 | ワイズメン 賢くないが なさけあり | |
| 四 | 例会は 飲み会だけが やや苦痛 | |
| 五 | バタバタと 忙しいのに ワイズメン | |
| 六 | 信条も 五十肩には 一苦勞 | |
| 七 | 調理ボラ たまには家でもと 嫁は言い | |
| 八 | 僕のため 妻の料理は 味薄目 | |
| 九 | 保育園 園児の声に 元気もらい | |
| 十 | 背くらべ 娘の手のひら 白髪に | |
| 十一 | 事務例会 料理持ち寄り クリスマス | |
| 十二 | ワイズダムその後ワイワイワインダム | |
| 十三 | 時期来れば 直々直訴 次期次々期 | |
| 十四 | 缶ぺーん 今日の日を 感謝して | |
| 十五 | ブリテンの 十年の重み ずっしりと | |
| 十六 | 古希 喜寿と おかえてもなお 青い仲間 | |
| 十七 | 賢人は どの県かと 父が問う | |
| 十八 | 極月や十億円の夢を買う | |
| 十九 | トロッコで潜る坑道初時雨 | |
| 二十 | 六文銭の旗翻る小春旅 | |
| 二一 | 七五三お被い受ける子正座して | |
| 二二 | Σの車内総立ち冬の虹 | |
| 二三 | 行く秋の薄陽に亀のこうら干し | |
| 二四 | 小雪舞うキャロルの後にほっ！とワイン | |
| 二五 | 花一輪主(ヌシ)去りし庭 春を待つ | |
| 二六 | 子ら帰り冬の公園ボール一つ | |
| 二七 | 冬の日に 一年の重み せつせつと | |
| 二八 | 春久し 土手の草木も 君を待つ | |
| 二九 | 落葉の池にアオサギ凜と立つ | |



《報告》 2016-17年度第2回湘南沖縄部評議会

会長 林 茂博

第2回 湘南・沖縄部評議会報告(次々期部長選考委員会・部則検討委員会報告含む)

日時 2016年11月26日(土) 13:30~17:00

※合計18名の出席者の内、つづきクラブ出席者は以下のとおり。

林会茂博クラブ会長、岡田美和クラブ書記
鈴木茂クラブ会計、今城高之直前部長
辻 剛部監事 (以上5名)

評議会に先立ち、次々期部長選考委員会・部則検討委員会が開催された。

＞ 審議事項

2017-2018年度次期部長選出に関する件は、若木部長から、厚木クラブに選出を依頼したが、不調に終わったとの報告を受け、協議の結果、部三役すべてを厚木クラブで選出することが難しいなら、部長のみの選出を再度検討していただくよう川口会長に依頼した。

湘南・沖縄部部則検討に関する件は、前期からの引き継ぎ事項であり、折しも東日本区定款見直しとの関連もあり、全面的見直しか部分見直しかについて意見交換がなされ、今期は引き継がれた部分見直しに絞って検討することになった。

15時から第2回部評議会が開催された。

成立確認後、先ず若木部長から第2回東日本区役員会、辻東日本区定款改訂委員会委員長から東日本区定款改定委員会報告があり、引き続き各事業主査

の報告があった。

地域奉仕事業主査報告の中でCS/Yサ支援金支給に関する件が報告され、クラブ申請額が確認され、承認された。

議案審議に移り、第1号議案2017-2018年度次期部長選出に関する件は、次々期部長選考委員会の審議事項を受けて、部長を厚木クラブ から選出する可能性の再検討を要請した。第2号議案2016-2017年度次期役員に関する件は、金子次期部長から、部書記・会計に横浜クラブ松島ワイズ・伊藤ワイズが提案され承認された。各事業主査については、別途他クラブに要請することになった。第3号議案部則改訂に関する件は、部書記がたたき台を作成し、検討委員会で審議した結果を、部長が再度部評議会へ提案することとなった。

第4号議案沖縄2クラブ公式訪問に関する件は、日程:2017年2月18~19日で現地集合・解散で確認されたが、詳細プログラムは沖縄2クラブと調整のうえ、別途連絡となった。第5号議案合同新年会に関する件は、1月21日(土)18時~20時、中華街・廣東飯店で会費5千円で開催する。申し込み締め切りは、1月15日。部書記宛てに連絡。第6号議案17~18年度部会に関する件は、金子次期部長から2017年9月16日(土)が提案され承認された。

最後に辻監事の講評をもって終了した。

※評議会終了後、参加者有志にて「唐家村」にて懇親会を開催。



2016-2017年度
湘南・沖縄部 第2回評議会

第75回Y-Y's 協議会報告

去る12月6日に開催されたY-Y's協議会が開催され、つづきクラブからは、林S、鈴木S、辻Ts、岡田K+M、山中N、今城T+Hの8名が参加した。

今回の協議会が75回目となる、東日本区でも類を見ないユニークかつ伝統的な会議で、YMCSA、ワイズ双方の活動状況を互いに報告し合い、共通関心事についての、協議・検討を行う、極めて有効な場です。

開会礼拝の後、今回の担当である厚木クラブ川口会長の司会で、提案された次第に沿って会議が開催されました。

概要以下の通り：

◇冒頭挨拶で、横浜YMCA田口総主事は、アドベントの季節を迎えた今、この一年を回顧して、ワイズの様々な協力もあり、年間予定したプログラムも着実に遂行されていること、更に、年内のプログラムとしてチャリティゴルフは、現在エントリーが110名を数える盛況さで、ワイズの他、地元の財界人、東京、神戸、名古屋からのワイズの参加もあり、大きな成果が期待されることへの感謝を述べた。

◇若木湘南・沖縄部長は、念願の三浦ふれあい村での部会が実現したこと、年明けには、新装なった東山荘でワイズ東西日本区交流会が開催されること、2月中旬過ぎには沖縄公式訪問が計画されていることなどを報告した。

◇ワイズ各クラブからは、それぞれの活動概要の報告があった。鎌倉クラブでは、来年が創立25周年を迎えるため、記念プログラムを検討している。

◇一連のユースリーダープログラム(全国研修会、リーダーズフォーラム、リーダーズデイ)が開催され、それぞれで当初の成果が上がった旨の報告があった。

◇本年のチャリランは、ボランティア、地域協賛団体・企業等の支援により、当初予定を上回る114チームの参加を得て成功裏に開催されたことが報告された。

◇1月21日(土)に、恒例のY-Y's合同新年会が中華街・廣東飯店(18～20時)に開催される。会費5千円。

◇2月11日(土)に、横浜YMCA会員大会が、湘南とつかYMCAにて開催される。ワイズの活発な参加が望まれる。ワイズでは玄関ロビーにインフォ・コーナーを構えるほか、つづきクラブが歌声広場を担当する。

(今城T記 完)

ささえ愛福祉週間 展示

12月1日から3日まで、都筑区役所区民ホールにおいて、ボランティア団体活動パネル展が開催されました。



今年は写真3枚を更新したパネルを、アーモンドの隣に掲示しました。

1月例会予告

1月本例会は、1月21日(土)開催のYMCA-Y's合同新年会に合流します。通常例会と日時・場所が変更となりますのでご注意ください。

この変更に伴い、1月10日(火)開催の事務例会でクラブ総会を行います。また、缶ペンを回収して、集計をいたしますので、お忘れなく事務例会にご持参ください。



第2回東西日本区交流会のご案内

第2回東西日本区交流会が、2017年2月4日(土)、5日(日)に新本館が完成した御殿場・日本YMCA同盟国際青少年センター・東山荘にて開催されます。この度、プログラムの詳細および登録要領が以下のとおり決まりましたのでご案内いたします。

1997年7月に日本区が東西に分かれてから20年目の節目の年に、2005年2月の第1回東西日本区交流会以来、12年振りに東西ワイズが一堂に会しての交流の場です。交流、親睦を中心とした、様々な楽しいプログラムや学び、啓発、情報交換の場や、ヤングメンバー向けのプログラム、メネット交流プログラムが企画されておりますのでクラブメンバーの皆様は誘いあわせの上ご参加ください。

—記—

開催日程

2月4日(土) 14時開会～2月5日(日) 昼食後解散

会場

日本YMCA同盟国際青少年センター・東山荘

大会キャッチフレーズ

「語ろう！ 未来につなぐワイズスピリットを！」

主なプログラム

<2月4日(土)>

開会式

講演：中道基夫氏(日本YMCA同盟理事、神戸クラブ)「YMCAのブランディングとワイズ」

東山荘の歴史について(堀口東山荘所長)

おやつタイム(「行列のできるラーメン」)

交流プログラム(選択して参加)

LT/LD関連、DBC/IBC関連、エクステンション

関連、音楽交流、ダンス、東山荘ウォーキング、ヤングメンバー交流、雪合戦(屋外スポーツ)、メネットアワー

夕食懇親会(東西対抗ワイズ合戦、ミュージックタイム、アピールタイム等)

フェローシップアワー(全体交流およびDBC毎の交流)

<2月5日(日)>

早朝ウォーキング/ジョギング

朝食

日曜礼拝

講演：山田公平氏(前アジア太平洋YMCA同盟総理事、ワイズ国際事業主任(YMCAリエゾン)、宇都宮クラブ)「ワイズとYMCA、今後への期待」

東日本大震災・熊本地震レポート

DBC締結式

閉会式

昼食

<交流プログラム(分科会)>

4日の「交流プログラム」は以下の9つのプログラムからお選びいただき、ご参加ください。

会場設営等の都合のため、登録用紙に参加希望の交流プログラムの番号をご記入ください。当日の変更は可能です。

<登録費>

宿泊者：13,000円、宿泊不要者：8,000円、未就学児童4,000円 (何れも3食、フェローシップアワー参加費込み)

※詳細は、クラブ会長にお尋ねください。

12-1月の行事予定

- 12/13(火)事務例会
- 12/15(木)横浜YMCAクリスマス
- 12/21(水)生麦歌声広場
ポピー(みんなの家)
- 1/10(火)事務例会・クラブ総会
北Yうたごえ広場
- 1/16(月)災ボラ運営委員会
- 1/17(火)COCO(みんなの家)
- 1/18(水)ポピー(みんなの家)
生麦うたごえ広場
社協交流分科会
- 1/21(土)Y-Y's合同新年会

11月のデータ

例会出席	16名	在籍会員数	20名	各種記録	前月	累計
メンバー	13名	月間出席数	18名	使用済切手	10g	10g
パートナー	1名	メーキャップ	5名	ブルタブ	0.8kg	12.0kg
ゲスト	2名	月間出席率	90%	スマイル	33,684円	79,692円

△編集後記
 入ることはクラブメンバー外のお耳に
 当クラブ林茂博会長ご本人からメン
 バーに宛てたメールにより、ご
 自身が肺腺癌に侵されていることが、
 先般の検査で判明したとのことで、
 幸いに、他への転移は認めらな
 く、年明け早々に外科手術をされると
 のこと。メンバー一同、ひたすらに
 快癒をお祈りします。▽本誌初の試み
 で、メンバーから川柳・俳句の募集を
 行ったところ、多数の句が寄せられ
 た。普段のみんなからはなかなか想像
 もつかぬ素晴らしい句もあり、編集
 も認識を新たにしました。お互いに
 楽しく評価し合っています。▽今年も
 僅かですが、メンバー各自、教会の
 リスマス行事や、孫守りでも忙しさを
 感じます。ちよつと早いけれど、この
 を借りて「メリークリスマス」を。
 △7月に編集を引き継いで今回6回目
 のブリーディングとなり、今年も残り
 苦勞を今噛みしめています。
 (編集子)

